

2006年度 C.P.I.総会議事録

日時：2006年6月17日（土） 13:00～17:00

場所：国立オリンピック記念青少年センター センター棟514号室

1. 開会の辞

議長を小西菊文会長とし、副議長 大山利雄理事が会場から賛成多数で選任された。

2. 議事録署名人に黒田良子会員、永津雅庸会員が会場から賛成多数で選任された。

3. 定足数の確認

定款第33条第4項に基づく正会員数973名、同第35条に基づく定足数243名に対して、会場出席者19名、書面表決出席者282名、合計301名の出席を以って総会は成立した。採決は、会場出席者と書面表決出席者によって行い、過半数を以って議決とする。

4. 新顧問、新評議員の紹介

長島良成氏	法律顧問	長島良成法律事務所所長（東京弁護士会所属）（東京・会員）
野田禎男氏	行政顧問	公務員研修協議会 理事長（東京・会員）
日下大器氏	評議員	日下基金 理事長（前・CPI顧問）
中山廣明氏	評議員	スポーツ指導者（元・CPI神奈川横浜中央地域代表・会員）
湯澤宥広氏	評議員	僧侶・青少年アフタースクール主宰者（茨城・会員）

このうち、法律顧問・長島良成氏が出席され、挨拶を行った。

「私は、17年ほどC.P.I.正会員として係ってきた。このたび会長の要請を受け、原則としては無償で当会の法律相談に乗ることとなった。法人として訴訟になる事項が発生しないことが望ましいが、そのような事態が想定される場合、あるいは発生する場合は、役目を果たしたい」

5. 議事（15:15開始）

第1号議案 2005年度事業報告

山川事務局長が、事業報告書によって報告を行った。

（質問1）SNECCの本部資金に係る自立は可能なのか？（人見会員）

（回答1）まず、2006年度の合同会議に至る経過説明が行われた。

- ① 昨年11月にC.P.I.理事会から、2006年度2100万円の支援総枠を提示。
- ② 本年1月11日、SNECCは、約2700万円のC.P.I.負担を要請（教育支援金+チャンドシリ事務局長委託費）。
- ③ 本年2月5日、スリランカにおいて合同理事会。日本側：小西、大山、宮原。席上、日本側は昨年に提示した額以上には拠出が無理であり枠内に収めるよう要請した。
- ④ 数時間の議論をプロジェクター画面で数字修正しつつ行ったが、SNECC理事会は「CPIから提示された総枠を考えずに、教育里子への支援を増額させてし

まった。そのためにSNECC本部とチャンダシリ事務局長の費用に関わるC.P.I.負担額が極端に減ったがやむを得ない」とのことで、事業報告書に示した結論を得て、その場で印刷して双方の書名を行った。

- ⑤ ただし、C.P.I.理事会は、事業報告P3にあるように、2006年度C.P.I.負担金に係る調整を再度行う余地を残した。

(質問2) 会員増に向けての活動について(小川会員、河邑会員、ほか)

(回答2) 教育里親運動そのものがメディアの注目を集める時代ではなくなっている。

しかし、それを基盤としたC.P.I.の活動(サッカーでの激励、学校生徒間の協力など)は数多く新聞に掲載を受けており、会の活発という点で世間評価があるから、会員に送った里子新聞増刷の配布を活用をお願いする、或いはWEB上のPRを行う等の努力を重ねている。

何と言っても会員のご協力が最も大切であるので、よろしくお願ひしたい。

(その他) 教育里親に対する教育里子報告の改善、公的支援の受け方(包括事業ではなくプロジェクト提示が必要)、スリランカ協力団体との課題など質疑応答が行われた

議長は採決を提起し、承認274票(うち書面256)、否認3票(うち書面2)で承認された。

第2号議案 2005年度決算報告

横浜理事が決算報告書によって報告を行い、加藤監事が監査報告書によって報告を行った。また、坂山監事が監査報告の補足として、「本部一会員間の意思疎通の円滑化、会員への報告の速度・質の向上、専任者の必要な給与・費用の確保」を早急に検討することを述べた。

(質問1) 津波支援金の残額2,469,000円の処理について(高橋会員)

(回答1) その使途については、25名の方から2,685,020円の使途承諾を書面で戴いている。

(質問2) SNECCとの間の戻入金100万円の処理について(高橋会員)

(回答2) 会計伝票の起票は、借方：教育支援金 貸方：スリランカ戻入金 として100万円の起票であり、教育支援金は実際の送金額よりも100万円増えて財務諸表に載る。SNECCは、本年2月5日に、2005年度の戻入金100万円を(過去の超過支払いへの一部清算として)認めている。なお、2006年度には戻入金を発生させないことが、同日の合同会議で決定されている。

(質問3) インドネシアにおける収益事業について(高橋会員)

(回答3) 決算報告書に記載の通り、9月の時点で休止した。今年度の計画も今のところない。

(その他) 神奈川地域会で、前渡金・前払金・立替金・未収金・貸付金など仮勘定について質問が出たとの横濱理事からの提起に基づき、事務局作成の書面説明が行われた。財務諸表では貸借対照表に記載されているが、その詳細を記したものである。会員からのお申し出により、個別に同書面をお送りすることとなった。

議長は採決を提起し、承認 273 票（うち書面 257）、否認 3 票（うち書面 2）で承認された。
(15:30～15:45 休息)

第 3 号議案 2006 年度事業計画案（15：45～）

小西会長が事業計画書によって説明を行い、また規則改定案を具体的に次のように提案した。
(規則改訂詳細案)

個人情報保護法を考慮し、これまでの規則の不備を改定する等の以下の件。

- ① 「会員の権利義務規則」の冒頭趣旨文『特定非営利活動法人 C.P.I.教育文化交流推進委員会定款第 10 条第 1 項に基づきこの規則を定める』との記載のうち、『第 1 項』の記載を削除する件。
- ② 「会員名簿に関する規則」第 2 条『本会の理事会および事務管理部長は、地域会会員名簿または連絡協議会連絡員等名簿が理事会の承認なく複製・配布されることにより会員が迷惑を被ったとき…』との記載のうち、『会員が迷惑を…』の部分を『会員および本会が迷惑を…』に修正する件。
- ③ 「会員の権利義務規則」の義務違反にかかわる当事者責任について、理事会が追加規定の検討に入る件。

議長は採決を提起し、承認 273 票（うち書面 256）、否認 2 票（うち書面 2）で承認された。

第 4 号議案 2006 年度事業予算案（16：25～）

横浜理事が、事業予算書によって説明を行った。予算書に『(単位：千円)』の記載がなかったので、修正した。

(質問 1) 収支計画のうち、事業推進支出に係る収入が、寄付金に大幅に依拠しているが、その根拠はあるのか（西川会員、高橋会員ほか）

(回答 1) 理事会としての腹案を検討中。2005 年度に行ってきた準備を活かしたい。

具体化を早急に図るとともに、9 月末の中間決算で収支バランスを見直すつもりだ。

議長は、理事会で中間見直しを行うことを条件としての採決を提起し、承認 273 票（うち書面 256）、否認 3 票（うち書面 2）で承認された。

閉会 17:00

以上の記載に間違いがないことを証します

2006 年 6 月 20 日

議長

議事録署名人

議事録署名人

署名済み原本は、本部保管